

2010年度 神奈川大学FYS授業到達目標

授業週	編	授業目標(テキスト該当章)	学生の到達目標	図書館が関係する部分
第1週目		大学で学ぶことの意義を理解するとともに、クラスづくりに取り組む<1章>	<ul style="list-style-type: none"> ・FYSの目的を理解し、積極的に取り組もうと思うことができる ・授業形式が双方向によるもので、教員の講義を受け身で聞いているだけではなく自ら積極的・主体的に取り組むべきであることを理解する ・班内で相互に自己紹介を行い、自由に話し合うことができるように、お互いの名前をしっかりと覚える 	
第2週目	自己紹介やインタビューによりクラスの一体感を醸成する。また神奈川大学の歴史と今を知り、大学における帰属意識を高める	大学で学ぶことの意義とクラスづくり<2章>	<ul style="list-style-type: none"> ・班内で前回の授業内容を確認し、大学のカリキュラムとはどのようなものであるのかおおよそ理解し、大学4年間で何を学んでいくかを考え、まとめる(大学での学習の目的) ・全員が自己紹介を兼ね、大学での学習目的について報告する ・大学の学習は、学生自らが主体的に積極的に取り組むべきものであることを確認する(大学での学習に取り組む姿勢) 	
第3週目		神奈川大学の昔と今を知り、神奈川大学を使いこなす<3章>	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川大学の歴史の一端を知り、その魅力がどこにあるのかを考える ・充実した大学生活を送るために、神奈川大学の機能をチェックする ・大学生の本文や、公共性・マナーを身につける 	図書館内ツアーの実施 (図書館ツアーとOPACの使い方については、4月1・2週目にも実施している)
第4週目		授業への取り組み;ノートテイキングから始めよう<4章>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の学習において、ノートテイキングが重要であることを理解する ・ノートを取り、自分のノートテイキングがどうなのかチェックする ・良いノートはどのようなノートなのかを理解し、改善に取り組む ・板書だけではなく、教員の話の内容を書きとることを目指す 	
第5週目		授業への取り組み;文献資料(書籍・新聞・雑誌など)を読む<5章>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の授業で必要となる情報にはどのようなものがあるのかを理解する ・文献資料読解のポイントを学び、実際に文献を読んでみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館による授業を前に先生方にやっていただきたいことを、FYSテキストおよび教員用マニュアルに記載 ・図書館発行の「情報リテラシーテキスト」を使用教材にあげ、文献情報の読み方に関する章をテキスト内に設け、設問も用意した。
第6週目	大学で学ぶ目的と意義を理解し、大学生としてのマナー、授業におけるノートの取り方・レポートの書き方・資料や文献の調べ方などを習得する	授業への取り組み;情報探索と問題発見①<6章>	情報探索における基本的な発想方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館による講義コマ ・図書館職員数の関係で合同授業での対応(委託スタッフも動員) ・図書館で講義する内容を事前にFYSテキスト内で教員に提示することにより、授業の流れを先生方に意識していただく。 ・自分で復習できるような設問を、「情報リテラシーテキスト」内に記載
第7週目		授業への取り組み;情報探索と問題発見②<7章>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館発行の「情報リテラシーテキスト」を参考に、情報探索の初歩的知識を身につける ・実際に情報探索を行い、自ら学ぶ基礎力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の個別セミナーによるフォローを設定(申込書を6週目の授業で配布) ・授業で利用できる設問を「情報リテラシーテキスト」内に用意。なお、回答はすべて図書館内で配布という方法を取り、なるべく学生を図書館に行かせるように仕組んだ。
第8週目		授業への取り組み;問題発見からレポートへ<8章>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報探索によって、どのように問題を見つければよいのかを理解する ・自分が関心を抱いたテーマについてレポートを書く場合、どのような構成・スタイルで書けばよいのかを理解する ・次週までにレポートを書くことを目的として、レポートの文章はどのように書けばよいのかその基礎を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD「情報の達人」を利用したの、レポートの書き方に関する、参加者自由のセミナーをこの期間、授業時限に合わせて1日3回実施。映像セミナーやツアー、簡単なセミナーについては、委託発注している。 ・学部特有のDBの説明等、要望があれば個別セミナーで対応
第9週目		授業への取り組み;レポート作成から報告へ<9章>	<ul style="list-style-type: none"> ・良いレポートと悪いレポートの違いを学び、自分のレポートの長短所を学ぶ 	
第10週目		プレゼンテーションを準備する①<10章>	<ul style="list-style-type: none"> 大学の学びにおけるプレゼンテーションの意義を理解する ・プレゼンテーションの基本的な知識について理解する ・プレゼンテーション実施のための準備ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD「情報の達人」を利用したの、プレゼンテーションの方法に関する、参加者自由のセミナーをこの期間1日3回、授業時限にあわせて実施(レポート同様委託スタッフが実施) ・学部特有のDBの説明等、要望があれば個別セミナーで対応
第11週目		プレゼンテーションを準備する②<11章>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理してアウトラインを作成することができる ・レジュメ(ハンドアウト)作成の手順を学ぶ ・内容に則したメインタイトルとサブタイトルを設定する ・リハーサルを行い、スピーチ力を向上させる 	
第12週目	自ら関心のあるテーマに則して、具体的な問題の発見からグループによる調査・討論を経て解決に至る道筋を辿りながら大学で学ぶための能力を習得する	プレゼンテーションを実施する①<12章>	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた手順と制限時間に従ってスピーチができる ・配布資料やスライドを使用したプレゼンテーションができる ・アイコンタクト・ゼスチャーなど非言語的表現をマスターする ・他人のプレゼンテーションを理解し、メモを取ることができる ・他人のプレゼンテーションを参考にして、自分のプレゼンを改善する 	
第13週目		プレゼンテーションを実施する②<13章>		
第14週目		FYSで学んだことと、これから大学で学んでいくべきことを話し合う<14章>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業をまとめる ・自己診断をして、初回と対比する。新たな目標を設定する ・学生自らがFYSを振り返り授業評価をする 	